豊田市交通事故多発地点対策計画

とよた事故削減あんしんプラン2020

～賢く対策、賢く削減～

計画期間｜平成28年度～平成32年度

豊　田　市

国土交通省 中部地方整備局
名古屋国道事務所

愛　知　県
豊田加茂建設事務所

愛知県警察
豊田警察署

愛知県警察
足助警察署

1 プランの位置づけ

プラン策定の趣旨

本市では、交通事故のない社会を目指して、学識経験者や関係行政機関などと連携し、交通事故削減に向けた取組を推進しています。今回、上位計画である第10次豊田市交通安全計画（平成28年8月）の策定にあわせて、国土交通省、愛知県、警察等と連携し、より効果的・効率的な事故対策の推進を図るため「とよた事故削減あんしんプラン2020」を策定しました。本プランでは、幹線道路、生活道路における交通安全対策や包括的な交通安全対策に取り組み、より一層の交通事故の削減を目指します。

第10次豊田市交通安全計画
～交通事故のない社会を目指して～

▸ 目的　市内における陸上交通の安全に関する総合的かつ長期的な施策の大綱です。

▸ 目標と視点

目標	H28~H32	• 死傷者数1,700人以下（平成27年2,392人の28.9%減）
交通安全対策の3つの柱		① 道路交通環境の整備 ② 交通安全思想の普及徹底 ③ 先端技術の活用及び調査研究の充実

プラン策定のプロセス

交通事故データの分析
- 交通量
- 事故件数　・事故発生位置
- 事故類型　・交通挙動 など

地域の声
- 道路整備要望
- 通学路整備要望
- 交通安全施設整備要望 など

↓
事故対策箇所の選定
↓
現地調査による危険状況把握
↓
対策内容の検討
↓
とよた事故削減あんしんプラン2020

豊田市幹線道路事故抑止対策連絡会議

※豊田市幹線道路事故抑止対策連絡会議とは、豊田市内の幹線道路における交通事故対策を推進するための組織であり、学識経験者や関係行政機関などで構成されています。

計画期間と目標

本プランは、上位計画である第10次豊田市交通安全計画にあわせ、平成28年度を初年度とし、平成32年度を目標年次とする5年間のプランです。

第10次豊田市交通安全計画　（5年間）
とよた事故削減あんしんプラン2020　（5年間）

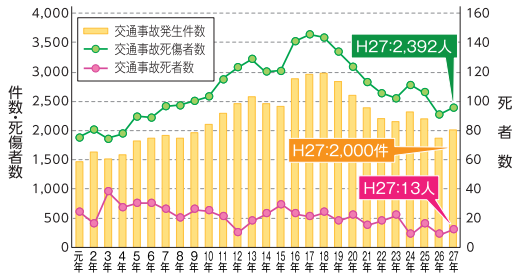
平成28年度（2016年度）　平成32年度（2020年度）

本プランの対策箇所における交通事故件数の6割削減を目標に、計画的に交通事故多発地点対策を進めます。

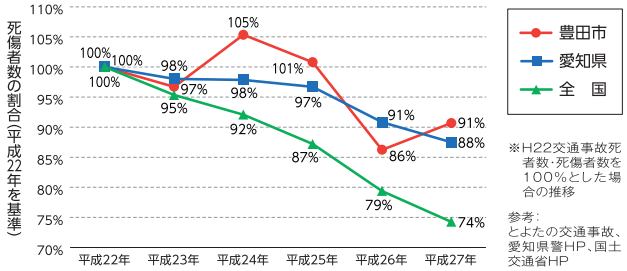
削減目標　交通事故件数6割以上削減

交通事故発生状況と課題

豊田市内の交通事故の推移　出典：とよたの交通事故



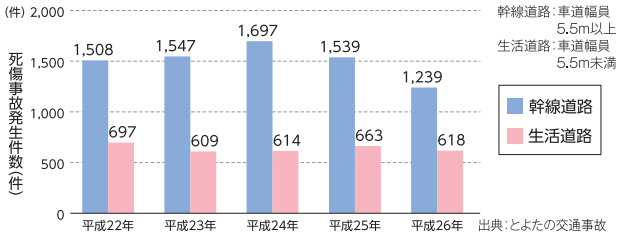
全国・愛知県・豊田市の交通事故死傷者数の推移



※H22交通事故死者数・死傷者数を100%とした場合の推移

参考：とよたの交通事故、愛知県警HP、国土交通省HP

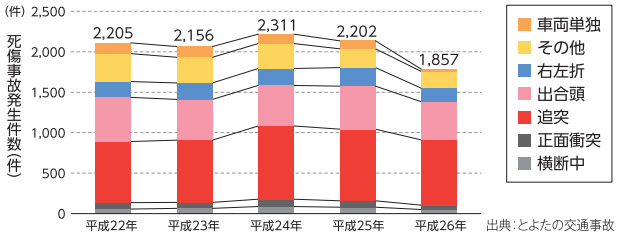
豊田市内の道路種類別死傷事故発生件数の推移



出典：とよたの交通事故

幹線道路の事故発生件数は生活道路の2倍以上となっています。
幹線道路に比べ、生活道路は事故の減り方が小さくなっています。

豊田市内の事故類型別死傷事故発生件数の推移



出典：とよたの交通事故

事故類型別に見ると、事故の減り方に偏りがあります。

幹線道路、生活道路において、削減を期待する交通事故を明確にし、効果的な対策を進めます

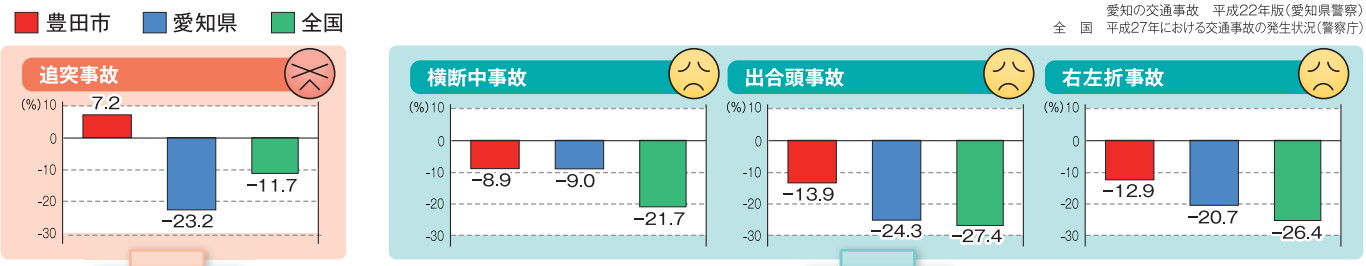
2 事故対策箇所の選定

豊田市の事故特性と対策箇所選定の考え方

本市の交通事故の発生状況と課題を踏まえ、以下の考え方により事故対策箇所を選定しました。

事故類型別H22→H26死傷事故増減率の比較 ※死傷事故件数を(H26/H22−1)×100で算出

出典：豊田市　とよたの交通事故
愛知県　愛知県の交通事故発生状況(愛知県警察)
愛知の交通事故　平成22年版(愛知県警察)
全　国　平成27年における交通事故の発生状況(警察庁)



増加している事故類型の事故が発生している箇所

追突事故
平均：1.6件/100m･5年

減少割合が小さい事故類型の事故が発生している箇所

横断中事故　平均：1.2件/5年(交差点)　：1.0件/5年(単　路)
出合頭事故　平均：1.7件/5年
右折事故　平均：1.9件/5年
左折事故　平均：1.5件/5年

多発箇所対策　死傷事故件数が平均の3倍以上

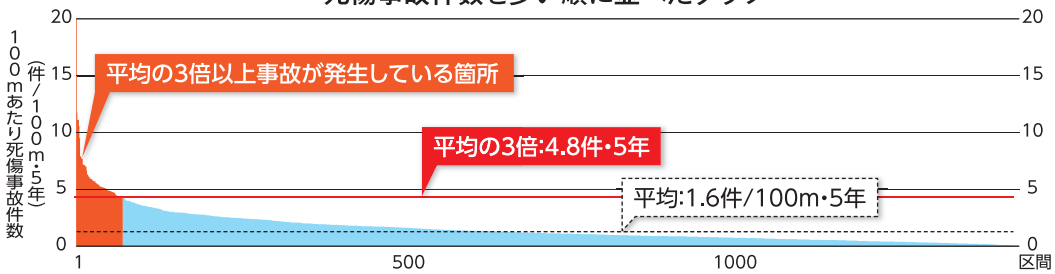
※横断中事故のみ平均の2倍以上
※H25･H26に1件以上事故が発生している箇所

28箇所

① 着目する事故類型の事故が多発している箇所

対策箇所選定のイメージ(追突事故)

死傷事故件数を多い順に並べたグラフ



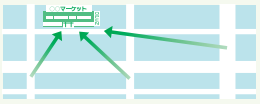
危険箇所対策　死傷事故件数が平均の2倍以上 ＋ 各要件

※横断中事故のみ平均以上
※H25･H26に1件以上事故が発生している箇所

15箇所

② 社会状況に伴い交通流動が変化していると考えられる箇所

②-1 大規模小売店舗の新規開店



開店前に比べ死傷事故件数が1件以上増加、または、開店後に重大事故が1件以上発生

②-2 幹線道路の拡幅･改良

改良前に比べ死傷事故件数が1件以上増加、または、改良後に重大事故が1件以上発生

1箇所

③ 急ブレーキ多発地点箇所

100m当り153件/年※以上発生
※①で選んだ多発箇所での平均値
※カーナビから得られた走行データを豊田市が分析

10箇所

④ 地域の住民が危険と感じる箇所

地域の要望等がある箇所

4箇所

※その他、選定基準を満たしたが、対策済みの箇所、前計画の対策箇所、交通事故多発交差点(H22~26)である計71箇所を経過観察します。

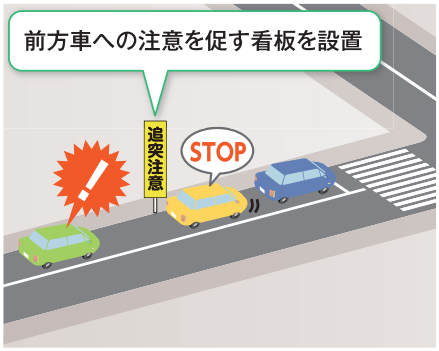
着目した事故類型の多発箇所及び危険箇所43箇所について事故対策を進めます

3 事故対策の進め方

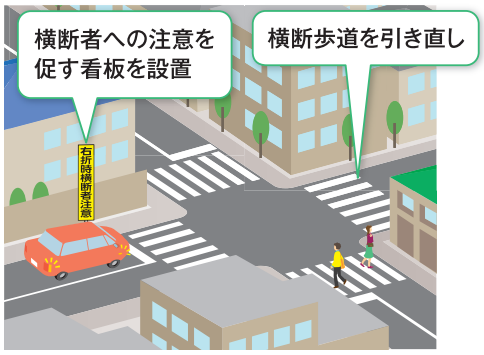
対策イメージ

事故要因に応じて、効果的な対策を実施します。

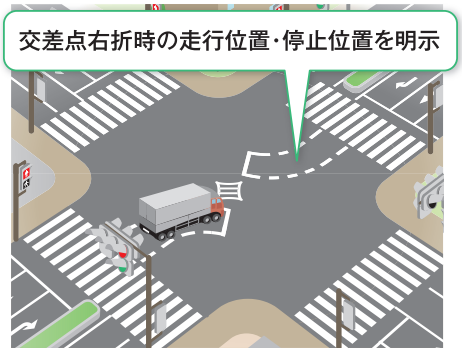
追突事故の多い区間



横断中事故の多い区間

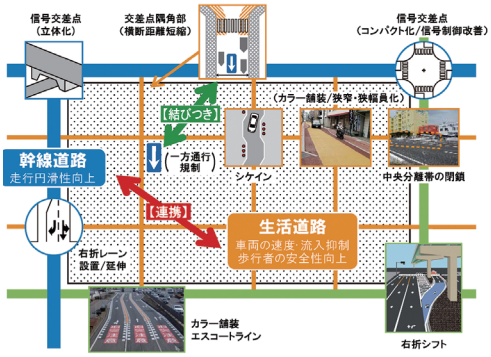


右折事故の多い区間



幹線道路と生活道路の連携

「生活道路」への車両流入抑制対策を「幹線道路」で実施し、生活道路の歩行者の安全性を向上するなど、「生活道路」と「幹線道路」との連携が可能な箇所においては「包括的な交通安全対策」を検討します。



包括的な交通安全対策のイメージ

PDCAサイクルの実施

本プランでは、計画をより実効性の高いものとするため、事故対策箇所に対して、対策実施前・後の事故発生状況の比較を行い、対策の効果を評価し、必要に応じて追加対策の検討を行う等、継続的に改善を行います。

お問い合わせ **豊田市建設部建設企画課**

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地
電話：0565-34-6682 FAX：0565-31-3540
E-mail：kensetsukikaku@city.toyota.aichi.jp

平成28年11月